

# あさなえJネットNEWS

光市立浅江中学校コミュニティ・スクールだより 平成30年度第2号  
(6月1日発行)



## 各プロジェクト部会のH30年度の重点取組事項

あさなえJネットマスコットキャラクター  
「つながりん」

あさなえJネットには、浅江中の教育活動をより充実したものにするための「プロジェクト部会」という組織があります。このプロジェクト部会では、各部会ごとに重点取組事項を定めて活動しています。以下、今年度の重点取組事項を紹介します。

プロジェクト部会名	今年度の重点取組事項
心の教育部会	<b>SNS<sup>*1</sup>使用についての意識向上（生徒が考え・企画する）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS使用について、生徒会がルールを作り、啓発する               <ol style="list-style-type: none"> <li>①「友達とのライン・メールは夜9時まで」</li> <li>②「0のつく日はスマホ0」</li> </ol> </li> <li>・他校へも浅江中学校の取組を広める</li> <li>・SNS使用について家庭との協力体制を整える（PTAとの連携）</li> </ul>
学力向上部会	<b>地域の方と学び合う授業</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方との道徳の授業の充実を図る（昨年度3回実施）</li> <li>・裁縫の授業に地域の方、保護者の方に入っただく</li> <li>・「あさなえ英会話」の参加者ととも英会話を学ぶ授業をすべての学年で実施する（昨年度3年生のみ実施）</li> </ul>
体力づくり部会	<b>健康な体づくりへの実践と生活リズムの改善</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あさなえシエスタ<sup>*2</sup>の充実を図る（時間を延ばす、時期を考慮する）</li> <li>・「丸1日円グラフ」の工夫により、浅中トライの活性化を図る</li> <li>・早朝元気クラブの活性化を図る（月1回AYC活動<sup>*3</sup>とコラボ運営）</li> </ul>

SNS<sup>\*1</sup> = Social Networking Service（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の略。日記やメッセージなどを通じて友人や知人・共通の趣味を持つ人達とインターネット上で繋がる機能のこと。

シエスタ<sup>\*2</sup> = スペイン語で昼寝の意味。

AYC活動<sup>\*3</sup> = 「あさえ、やっちゃろうクラブ」の略で、ゴミ拾いなどのボランティア活動を実施している。

## 「あさなえJネット」10周年記念事業の実行委員会、動き始める！

本校のコミュニティ・スクールは、平成21年度、文部科学省より調査研究校としての指定を受けた後、平成23年度から正式に光市教育委員会の指定を受け、推進事業を展開してまいりました。今年度で10年目という節目を迎えるにあたり、これまでの取組を振り返るとともに、今後のさらなる発展を祈念し、記念事業を行います。

実行委員会はOB、OG、在校生代表を中心に17名で構成され、第1回実行委員会を5月5日に開きました。

＜実行委員＞※敬称略

H21年度卒 和泉 宏  
H22年度卒 片山 留奈  
H23年度卒 富田 美月  
H24年度卒 加川 友貴  
H25年度卒 村本 充輝  
H26年度卒 森本 遥  
H27年度卒 濱村 理久  
H28年度卒 河中 拓登  
H29年度卒 山下正太郎  
H29年度卒 室岡 千尋  
在校生 末岡 涼輔  
上田 優月



木本 育夫  
(地域連携教育アドバイザー)  
中村 逸也 (学校運営協議会委員)  
川野 隆義 (前PTA会長)  
西本 裕志 (浅江中教員)  
歌田 聡 (浅江中教員)

## あさなえJr(ジュニア)、さまざまな行事で活躍しています！

虹の鯉のぼりプロジェクト 4月29日(日・祝) 会場：虹ヶ浜海岸



「虹の鯉のぼりプロジェクト」は、5年前に浅江中学校の生徒が宮城県東松島市で開催された「シンサイミライ学校交流会」に参加したことがきっかけで始まりました。

今年も東日本大震災を忘れないために、地域で鯉のぼりを集め、空と海でつながっている虹ヶ浜の海岸に掲げられました。この行事において、4月28日(土)本校野球部の生徒たちが、会場設営や土のうづくりなどの事前準備、当日は、「15歳は地域の担い手」を合言葉に活動している「あさなえJr」(代表生徒)がパネルを使って活動紹介(プレゼン)を行いました。

僕はこれまで行事等で全体の前で発表した経験はありませんでした。今回、こうしたチャンスをいただき、幾度か練習を積み、本番では緊張はしたものの、思う存分、力を出し切って発表できました。何より、「虹の鯉のぼりプロジェクト支援」のこの歴史を知り、先輩たちの想いやこれまでの活動を多くの地域の方々に伝えられ、達成感を味わうことができました。

3年 吉河 輝

## 「あさなえJネット」の“研修視察”に訪問されました！ 兵庫県加古郡稲美町議会 広島県教育委員会

5月22日(火)に兵庫県加古郡稲美町議会議員8名、29日(火)に広島県教育委員会2名の方が浅江中学校のコミュニティ・スクール(※以下コミスク)「あさなえJネット」の取組の様子を視察するために訪問されました。当日は、伊藤校長からの挨拶の後、CS担当 藤原教諭から「あさなえJネット」の成り立ち、組織、活動状況の説明を行いました。

その後、地域の方と学ぶ授業(2年「道徳」)と第1回あさなえコーラス(11月11日に行われる県中学校総合文化祭で発表)の様子を視察されました。視察された感想として、「コミスクを通して、地域の方や保護者の方の支えがあり、生徒たちが安心して生活できる環境が整っている。」「地域の方と学ぶ授業は学力の向上につながっていく。」などが出され、やはりコミスクは子どもたちの成長に役立っていくと感じられたようでした。



△全体説明会

△「地域の方と学ぶ」道徳

△第1回「あさなえコーラス」